

令和 5 年度食育イベントについて

イベント	長久手を食べよう！～真菜そば試食会&野菜マルシェ～
日 時	令和 5 年 1 1 月 5 日（日）午前 9 時から午後 2 時まで
会 場	長久手市文化の家 2 階 食文化室、1 階 北ガレリア
目 的	若者世代が調理する機会の創出と日本文化の継承
主 催	長久手市
協 力	長久手そば打ち愛好会 青山会長始め 8 名 愛知淑徳大学 CCC 8 名 (1 年：健康栄養科 6 名、教育学科 1 名、2 年：人間情報学科 1 名) 農楽校 9 名
広 報	広報 1 1 月号掲載
事業実績	真菜そば試食会 定員 1 6 0 食 参加人数 1 6 0 人 野菜マルシェ完売 売上げ 1 5, 6 0 0 円 愛知淑徳大学 CCC 秋冬野菜レシピの配布 長久手南中学校 2 年生 真菜を利用した料理レシピの紹介

アンケート集計結果 資料 2-1 参照

事業の成果

- ・ イベントの目的である「若者世代が調理する機会の創出と日本文化の継承」については、資料 2-2「愛知淑徳大学 CCC 振り返りシート」から、事業成果を評価できるものとなった。
- ・ 食の外部化や共食率などが課題となっている中で、「料理を作る」、「だれかと食べる」という食環境を当イベントで提供することにより、参加者アンケートからも一定の効果が確認できた。
- ・ 参加者アンケートでは、「長久手の伝統野菜を知ることができた」、「地元野菜を食べ関心がより深まった」、「地域の食文化を大切にしたい」、「真菜を育てていきたい」などの感想をいただき、真菜の魅力を知ってもらう機会となった。
- ・ イベントを通じた波及効果も期待される結果となった。

〈取材実績〉

R6 年 1 月 中日新聞地方版「つなぐ～雑煮彩る「真菜」手間かけ」

R6 年 2 月 ひまわりテレビ「刻の遺産 ～長久手伝統野菜 真菜～」

CBC ラジオ「北野誠のズバリ」

大地のめぐみにズバリ「長久手の真菜」

- ・ 真菜の種の配布希望者が増え、栽培意向の効果が確認できた。
- ・ 野菜マルシェについては農学校の販売実習として行い、受講生の意識向上と地産地消に繋がった。

今後の課題

- ・真菜の認知度については、半数近くが知らなかったを占めたため、継続して市の伝統野菜としてPRを行い、市民が関心を持ち地産地消に繋がるように取組を促進したい。
- ・農に軸足をおいた食育活動を推進することは、地域住民を始め消費者のよりよい食の実現のみならず、食文化の継承、地域農業の活性化に資するため、みどりの推進課ならでは、継続した食育活動のモデルを確立する必要がある。
- ・みどりの推進課の食育活動として、食と農の距離がポイントとなるが、こうした食の問題を最も有効に解決できるのは、食材の生産と消費が直結している場である農産物直売所ではないかと考える。その農産物直売所で、伝統野菜を始めとした地元農産物の食べ方を提案し、消費者が実践しやすい内容でレシピの提供等を行い、地元野菜の認知度を上げれば、地域農業の活性化を促すことになる。
- ・食育の場としての機能を、農産物直売所と連携し拡大・向上させていくことにより、地域住民はもとより、広く一般の人々にも食料や農業への関心と理解の向上を図ることができると考える。地域農業の新たな価値を創り出し、生産者の所得向上とやりがい作り、併せて健全な食の提供という、目に見える形での地域貢献を進めるため、また、生産者と消費者の交流事業について、食育という視点からも、例えば農産物直売所に学生のレシピを設置したり、料理教室のコーディネーター的な立場となり協力していくことを検討していく。